

30人以下学級の実現を求める要請署名 ～コロナ禍での子どもたちの安全を保障するために～

佐賀県知事 山口 祥義 様
佐賀県教育長 落合 裕二 様

佐賀県においては、厳しい財政事情の中、子どもたちの教育の充実のために県独自予算による小2、中1の選択制少人数学級が実施されていることに感謝申し上げます。

このたびの新型コロナウイルス感染症対策や休校対応にあたって、「身体的距離の確保」「子どもの検温などの健康管理」「個別の配慮が必要な子どもへの支援」等において、現在の1学級40人という人数では対応が非常に困難であることが明らかになりました。

また、学校現場において学力不振、いじめ、不登校など、子どもたちが抱える課題は多岐にわたっており、困り感を抱えている子がどの学級にもいるのが現状です。すべての子どもたちが安心して共に学べるインクルーシブ教育の構築のためにも、教職員増による30人以下学級の早期実現が欠かせません。佐賀県内でも少子化の影響もあり少人数学級は増えてきましたが、未だ66学年（20年4月現在）が、1学級40人近い人数で学習をしています。

国内、また九州各県においては、独自の予算による少人数学級を多くの自治体が導入しています。世界に目を向けると、OECD（経済開発協力機構）による学級編成基準の加盟国平均は21.2人で、多くの国が少人数学級を導入しています。日本の1学級あたりの児童生徒数はOECD平均を上回り、最も高い国の1つとなっています。

そこで、一人ひとりの子どもの育ちにきめ細かに対応でき、子どもたちがよりよく学べる30人以下学級の早期完全実施に向け、以下の事を強く要望いたします。

◎要請項目

1. 30人以下学級の早期完全実施をするよう国に求めること。
2. 全ての学級において、県独自予算での30人以下学級を実施すること。
3. 現在実施している小2・中1での選択制少人数学級は継続すること。

名 前	住 所

【取扱い団体】民主教育をすすめる佐賀県民会議 会長 藤岡 直登

連絡先：佐賀市高木瀬町東高木227-1 佐賀県教育会館3F TEL0952-31-7161

*どなたでも署名できます。(代筆可)